

論文審査の要旨  
(Summary of Dissertation Evaluation)

博士の専攻分野の名称 (Major Field of Ph.D.)	博士 ( 学術 )	氏名 (Candidate Name)	RAHMATIKA DEWI
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論文題目 (Title of Dissertation) Revisiting Career Decision Making Process of Indonesian Polytechnic Graduates amidst COVID-19 - Drawing out the Pandemic Interactive Agency System (PIAS) Model			
論文審査担当者 (The Dissertation Committee)			
主 査 (Name of the Committee Chair)		教授 日下部 達哉	
審査委員 (Name of the Committee Member)		教授 吉田 和浩	
審査委員 (Name of the Committee Member)		教授 堀田 泰司	
審査委員 (Name of the Committee Member)		准教授 恒松 直美	
〔論文審査の要旨〕 (Summary of the Dissertation Evaluation)			
<p>本研究は、コロナ禍のインドネシアで、ポリテクニク修了生たちが、いかに進路を決定したか、労働市場全体を俯瞰すると、申請者が見出したPandemic Interactive Agency System (PIAS) Modelが機能、調整が図られることで、コロナの影響を抑えた進路選択が可能になっていたことを、中央ジャワ州3地域（テガル、チラチャップ、ケンダル）の調査から明らかにしたものである。</p> <p>第1章、研究の背景では、インドネシアにおけるポリテクニク（高等職業教育校）が経験した労働市場の状況を説明した。また、コロナ禍でのポリテクニク修了生の進路形成過程が打撃を受けたことについて論拠を示した。</p> <p>第2章、先行研究の検討では、研究の独自性を示した。次にコロナ禍に発現した労働市場の特徴を述べ、ポリテクニク修了生たちは、コロナ禍で打撃があった労働市場にいかによりアプローチし、進路形成したか、という調査枠組みを構築した。</p> <p>第3章、方法論では上記3地域でフィールドワークを実施し、半構造化インタビューを98名に対して行い、その書きおこしを行ったことを解説した。</p> <p>第4章、ファインディングでは、インタビュー結果から、インドネシア労働市場の典型的な特徴①社会移動困難性、②経済・雇用機会制限性、③ネポティズムの存在、④職業のデジタル化があることを明らかにした。また、コロナ禍に際し修了生らは、①デジタル・社会資本、②連帯資本、③デジタル・文化資本などの様々な「資本」を発動させていることが分かった。進路形成プロセスには、①社会移動が困難なので、給与所得を得られるならフリーランスでも給与所得を得られる職業を求めがちであったこと、②コロナ禍であったため、デジタル化された職業が得やすく、そちらに流れた、という二つのシナリオがあったことが分かった。最終的にPIASモデルが浮き彫りにされ、ポリテクニク修了生たちは、連帯資本を使って、就業機会喪失をカバーしていたことが明らかとなった。</p> <p>第5章、第6章のディスカッションでは、それまでの研究結果を総合、PIASモデルの概念化を検討した。また困難に際し、修了生らは、彼らのもつ多様な「資本」を進路形成過程に活用、その重要性を解明した。</p> <p>第7章、結論では、研究設問に回答、コロナ禍が新しい進路形成プロセスの形態であるPIASモデルを発動させ、人々が保有している多様な「資本」、とりわけ連帯資本が機能していることを述べた。</p> <p>口述試験における質疑応答では、研究において用いられていたセレンディピティの用語、研究の背景に関する説明の強化、PIASモデルの妥当性について、より説得力を増す余地があることが指摘され、申請者は丁寧に回答した。後日、上記を再度検討したうえで修正された内容を、主査と審査委員が確認した。</p> <p>本論は、先行研究が想定していなかったコロナ禍という、世界が経験したことのない感染症が拡大するなかで、インドネシアのポリテクニク修了生たちが、新しい方法で職業に接続しようとしていたことを発見しており、新たな学術的、実践的示唆を与えるものとして、高く評価できる。</p> <p>以上の審査の結果、本論文の著者は博士（学術）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。</p>			
令和 5年 8月 1日			

備考 要旨は、1,500字以内とする。

(Note: The summary of the Dissertation should not exceed 500 words.)